

第 60 期 報 告 書

2006.3.1 > 2007.2.28



代表取締役会長
廣内 武



代表取締役社長
上村 茂

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より格別のご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

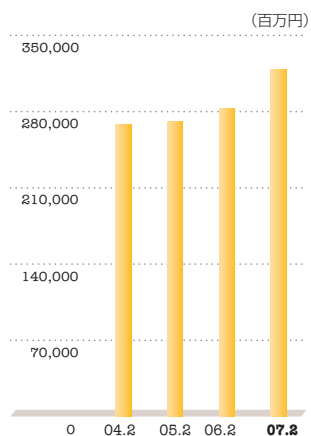
さて、当社は平成19年2月28日をもって、第60期の事業年度を終了いたしました。

当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域とし、「ファッション」を生活文化として人々のあらゆるシーンに提案するとともに、新しいライフスタイルや価値の創造を通じて、人々の豊かな生活への貢献にグループをあげて取り組んでまいりました。ここにご報告申しあ

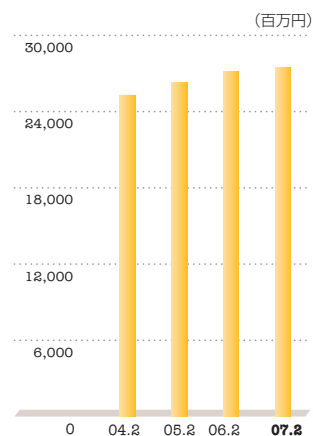
げますとともに、引き続き「ブランド軸経営」による積極的な成長戦略を推進し、事業規模の拡大と経営基盤の強化を実現して、企業価値すなわち株主価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

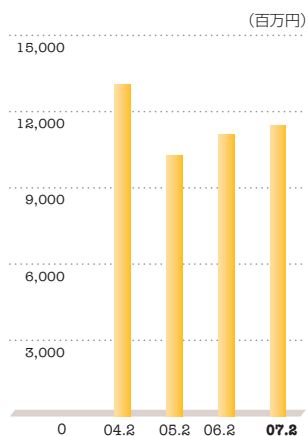
連結売上高



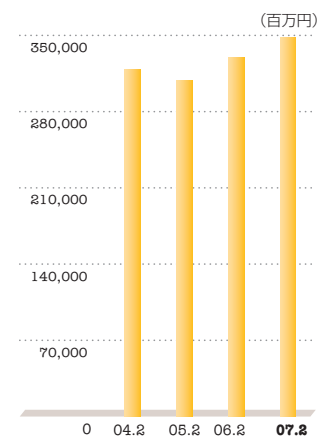
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産



(百万円)

	2004.2	2005.2	2006.2	2007.2
連結売上高	267,745	271,273	283,110	318,690
連結経常利益	25,243	26,283	27,167	27,407
連結当期純利益	13,053	10,256	11,091	11,438
連結総資産	318,270	308,170	329,403	347,936
連結純資産	196,796	202,376	203,826	225,138
連結 1 株当たり当期純利益 (円)	74.07	58.10	63.79	70.52

当期の事業環境と業績全般について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の拡大を背景に設備投資の増加や雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復を続けました。一方、個人消費につきましては、個人所得の伸び悩みなどの影響から本格的な回復には至りませんでした。

当アパレル業界におきましては、消費動向の急激な変化や外資系ブランドも含めた企業間の競争激化に加え、予想を上回る天候不順の影響など厳しい環境が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域とし、「ファッション」を生活文化として人々のあらゆるシーンに提案するとともに、新しいライフスタイルや価値の創造を通じて、人々の豊かな生活への貢献にグループをあげて取り組んでまいりました。なかでも中核事業である衣料品等繊維製品事業につきましては、ブランドを基軸にその価値の極大化をはかる「ブ



「iCB」



「23区」

ランド軸経営」を基本戦略に掲げ、全社員が一丸となって強力に推進することで圧倒的な競争優位性の確立をめざしてまいりました。

以上の施策と、世界に向けた成長戦略の拠点としてさらに重要となる欧州・アジア・北米地区等の子会社19社を新たに連結対象に加えたことにより、当期の連結業績は以下のとおりとなり、増収・増益の実績をあげることができました。

● 第60期（2007年2月期）の連結業績実績

売上高	3,186億90百万円（前期比 12.6%増）
経常利益	274億7百万円（前期比 0.9%増）
当期純利益	114億38百万円（前期比 3.1%増）

● 事業セグメント別の概況

「衣料品等繊維製品事業」

国内につきましては、当社において「ブランド軸経営」の積極的な推進と「8シーズン52週MD（マーチャндаイジング）」のさらなる精度の向上に取り組むとともに、今期の事業方針として、「基盤力の強化」「新ブランドの開発と育成」「M&Aお

REVIEW OF OPERATION



「J. プレス」



「組曲」

よびジョイントベンチャーの推進」を実施して売上の拡大をはかってまいりました。

基盤力の強化につきましては、「23区」「組曲」「ICB」「自由区」など大型基幹ブランドにおいて企画精度の向上による適時・適品の供給体制を推進することで、前年を上回る売上を達成することができました。新ブランドの開発と育成につきましては、百貨店および都市近郊型商業施設に向けて、各流通のニーズと競合環境に最も適応した新たなブランドを投入いたしました。M&Aおよびジョイントベンチャーの推進につきましては、ファッションビルでのブランド事業拡大をめざして、同商業施設のニーズにマッチした有力ブランドとの新たな取り組みを進めてまいりました。

株式会社インパクト二十一では、「ラルフローレン」において、デザイナーブランドとしての提案力を保ちながら、日本の気候やモチベーションに合わせた商品企画を強化することで消

費者ニーズに対応した商品提案力がより高まり、上期は苦戦したものの下期の売上高は回復基調になってまいりました。

海外につきましては、欧州のジョゼフグループとジボコーグループが、ブランド力を生かし順調に売上拡大するとともに、原価管理の徹底などの効率経営を推進し、大幅な収益の向上をはかり当初計画を上回る業績を達成いたしました。また、中国を中心としたアジアでは、経営効率を見極めたうえで、自社開発ブランドの積極的な出店拡大を行い、計画を上回る業績を達成いたしました。一方、北米につきましては、ブランドの展開規模や基盤の整備など収益体制にはまだ課題が残りました。

以上の結果、当期の衣料品等繊維製品事業の業績は以下のとおりとなりました。

● 衣料品等繊維製品事業

売上高	3,018億45百万円（前期比12.2%増）
営業利益	247億83百万円（前期比3.1%増）

[その他の事業]

サービス関連事業につきましては、当社グループで培ったノウハウを活用してグループ外受託業務を積極的に獲得する等の営業強化をはかり、業績を順調に伸ばすことができました。

リゾート関連事業につきましては、事業展開の基盤をグアムに集中し、ホテル、ウォーターパーク、ゴルフ場を運営する総合リゾート事業としての基盤を確立し、来期以降の収益化が見込める体制となりました。

以上の結果、当期のその他の事業の業績は以下のとおりとなりました。

● その他の事業

売上高	168億45百万円（前期比 19.1%増）
営業利益	6億99百万円（前期比 9.4%増）



今後の課題と来期の目標について

今後の経済環境につきましては、企業収益の好調を背景に当面緩やかな景気回復が持続するものと思われまます。当アパレル業界におきましては、新たな外資系有カブランドの進出や携帯電話などITを活用した新たな販売手法の台頭など、企業間や業態間のさらなる競争激化で、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、グループ企業の再編を実施し、ガバナンス体制強化、戦略的意思決定の迅速化をはかり、



REVIEW OF OPERATION



「ジョゼフ」



経営効率をさらに向上させ、オンワードグループの成長戦略を推進してまいります。

当社におきましては、引き続き「ブランド軸経営」を確実に推進し、収益の向上を最重要目標として取り組んでまいります。

基盤力の強化につきましては、企画部門と生産部門の一体化を進め、マーケット変化により素早く対応できる商品供給体制を確立し、売上と収益の拡大をはかってまいります。

新ブランド開発につきましては、主力の百貨店市場においてさらなるシェア拡大、新流通市場では市場の変化をとらえ存在感のあるブランドを開発し、既存ブランドも含め収益のともなう単位化をめざしてまいります。

国内の関係会社も同様の基本戦略で、さらに収益体制を強化してまいります。海外の関係会社につきましては、北米の課題を確実に改善するとともに欧州、アジアの積極的な拡大をさらに推進し、収益拡大をはかってまいります。

● 第61期（2008年2月期）の連結業績予想

売上高	2,960億円（前期比 7.1%減）
経常利益	280億円（前期比 2.2%増）
当期純利益	140億円（前期比22.4%増）

「J. プレス」 ニューヨーク旗艦店移転リニューアルオープン



白い壁の空間にシンプルで大きな円筒型の証明を合わせ、爽やかでエアリーな雰囲気にとどめたNY マディソン街沿いの「J. プレス」NY店。

2007年5月3日、「J. プレス」ニュー YORK 旗艦店が、マディソン街47丁目のメインストリートに移転リニューアルオープンしました。

ニュー YORK の新旗艦店は、旧店から持ち込んだアンティーク家具と新しいステンレススチールのシンプルでモダンな什器をミックスし、重厚さとカジュアルさを持ち合わせた明るい店舗となっております。

「J. プレス」は、今春より「変わらないことの素晴らしさ」「変革を続けることへの憧れ」の2つをテーマにアイテム・スタイリング、ショップ環境に至るまで新たな息吹を吹き込み、新生「J. プレス」としてスタートしました。

新しいデザイナーにマーク・マクネイリー氏を迎え、伝統を維持しながらも新しい世代に受け入れられるカジュアルウエアや上質なスーツなどを幅広く提案しております。

「ジョゼフ ザ ストア」 東京ミッドタウンにオープン

2007年3月30日、「ジョゼフ (JOSEPH)」の世界初の新概念トショップ「ジョゼフ ザ ストア (JOSEPH THE STORE)」が、東京ミッドタウン (東京都港区赤坂六本木) にオープンしました。

「ジョゼフ」は、都会の洗練された男女に向けて上質で着心地の良い大人のためのカジュアルウエアを、ヨーロッパを中心に世界の主要都市でショップ展開しているグローバルファッションブランドです。

当ショップでは、メンズライン「ジョゼフ・オム」とウィメンズライン「ジョゼフ」を中心に展開しており、メンズラインではオリジナル商品を中心に衣料品から服飾雑貨まで幅広く取り揃えております。ウィメンズラインでは、ローゲージが特徴のニットライン「ジョゼフ トリコ (JOSEPH TRICOT)」をはじめ、充実したサイズバリエーションを取り揃えたボトムスとトップスやセレクト商品のバッグやシューズ、オリジナルシューズを展開しております。



透明感のあるグレーラインと透明なラインで構成されたブランドのランドマークであるランダムボーダーのガラス壁面を正面に配し、内装は白と焦げ茶をベースとした色彩で統一させ、シンプルで洗練されたなかに上質感がたどる空間の「ジョゼフ ザ ストア」。

P I C S



大山志保選手と【23区】のコラボジュエリーデビュー

女子プロゴルファー大山志保選手とレディスブランド【23区】のジュエリーラインとがコラボレーションしたオリジナルアクセサリ「HAPPY NATURAL MOTIF FOT GOOD LUCK!!!」が今春誕生しました。

このジュエリーは、アクセサリの大好きな大山選手自らが“ゴルフと自然”をテーマにデザインした、こだわりのジュエリーです。

大山選手のラッキーカラーの“ラベンダー”やバースデーストーンの“エメラルドカラー”を取り入れた、オリジナルのラッキーモチーフ【月&星】【星】【クローバー&幸せを運ぶ鳥】のピアスとイヤリングを「ONWARD e-store」で限定販売しております。



※ONWARD e-storeとは、オンワードが運営するオンラインショップです。

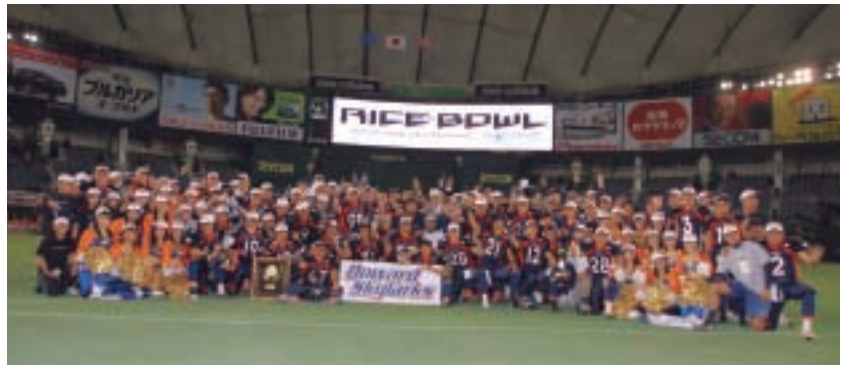
<http://www.onward-estore.com/>



「オンワードスカイラクス」アメリカンフットボール日本選手権第60回ライスボウル優勝！

2007年1月3日、東京ドームに32,598人の大観衆を集めて行われた「アメリカンフットボール日本選手権 第60回ライスボウル」で、Xリーグチャンピオンのオンワードスカイラクスが学生代表の法政大学トマホークスを30-29で破り、悲願の初優勝を果たしました。

今後もさらなるオンワードスカイラクスの活躍にご期待ください。



Financial Statements

Consolidated

連結財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

	当期 2007年2月28日現在	前期 2006年2月28日現在
資産の部	(347,936)	(329,403)
流動資産	135,196	135,769
現金及び預金	57,390	56,136
受取手形及び売掛金	32,307	27,675
たな卸資産	37,097	31,116
繰延税金資産	4,191	4,175
その他の流動資産	4,373	16,891
貸倒引当金	△ 163	△ 226
固定資産	212,739	193,634
有形固定資産	94,850	99,687
建物及び構築物	31,208	33,083
土地	53,723	57,190
その他の有形固定資産	9,918	9,413
無形固定資産	27,094	26,767
のれん	24,310	24,158
その他の無形固定資産	2,783	2,609
投資その他の資産	90,795	67,178
投資有価証券	63,307	37,430
長期貸付金	4,267	2,884
長期前払費用	3,707	5,767
繰延税金資産	5,814	2,215
再評価に係る繰延税金資産	—	1,629
その他の投資	14,692	17,634
貸倒引当金	△ 995	△ 384
資産合計	347,936	329,403

(百万円)

	当期 2007年2月28日現在	前期 2006年2月28日現在
負債の部	(122,798)	(107,803)
流動負債	103,493	97,617
支払手形及び買掛金	51,692	46,926
短期借入金	26,916	26,419
未払費用	7,258	7,116
未払法人税等	8,234	8,437
未払消費税等	935	1,255
賞与引当金	2,694	2,971
役員賞与引当金	516	—
返品調整引当金	1,027	982
その他の流動負債	4,219	3,508
固定負債	19,304	10,186
長期未払金	2,402	—
退職給付引当金	4,949	2,380
役員退職金引当金	274	1,884
負ののれん	447	894
再評価に係る繰延税金負債	5,991	—
その他の固定負債	5,238	5,026
純資産の部	(225,138)	(—)
株主資本	212,600	—
資本金	30,079	—
資本剰余金	50,045	—
利益剰余金	148,953	—
自己株式	△ 16,478	—
評価・換算差額等	△ 8,755	—
その他有価証券評価差額金	3,813	—
繰延ヘッジ損益	20	—
土地再評価差額金	△ 11,012	—
為替換算調整勘定	△ 1,577	—
新株予約権	72	—
少数株主持分	21,220	—
負債及び純資産合計	347,936	—
少数株主持分	(—)	(17,772)
少数株主持分	—	17,772
資本の部	(—)	(203,826)
資本金	—	30,079
資本剰余金	—	50,044
利益剰余金	—	137,922
土地再評価差額金	—	△ 2,377
その他有価証券評価差額金	—	5,291
為替換算調整勘定	—	△ 687
自己株式	—	△ 16,447
負債、少数株主持分及び資本合計	—	329,403

連結損益計算書

(百万円)

	当期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで	前期 2005年3月1日から 2006年2月28日まで
売上高	318,690	283,110
売上原価	175,795	152,042
売上総利益	142,895	131,068
販売費及び一般管理費	117,464	106,360
営業利益	25,431	24,707
営業外収益	3,625	3,785
営業外費用	1,650	1,325
経常利益	27,407	27,167
特別利益	13,948	68
特別損失	17,821	1,369
税金等調整前当期純利益	23,535	25,866
法人税、住民税及び事業税	14,409	12,321
法人税等調整額	△3,170	842
少数株主利益	858	1,612
当期純利益	11,438	11,091

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで	前期 2005年3月1日から 2006年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,362	26,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,849	△37,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,837	△15,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	364	59
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△1,959	△25,485
現金及び現金同等物の期首残高	56,058	81,543
連結範囲の変更に伴う現金同等物の期首残高増加額	3,207	—
現金及び現金同等物の期末残高	57,306	56,058

連結株主資本等変動計算書 (2006年3月1日から2007年2月28日まで)

(百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2006年2月28日残高	30,079	50,044	137,922	△16,447	201,599	5,291	—	△2,377	△687	2,227	—	17,772	221,599
連結会計年度中の変動額													
剰余金の配当(注)			△3,892		△3,892								△3,892
役員賞与の支給(注)			△530		△530								△530
当期純利益			11,438		11,438								11,438
自己株式の取得				△41	△41								△41
自己株式の処分		1		10	11								11
土地再評価差額金取崩額			553		553								553
連結子会社の増加			3,462		3,462								3,462
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△1,477	20	△8,635	△890	△10,982	72	3,447	△7,462
連結会計年度中の変動額合計	—	1	11,030	△31	11,000	△1,477	20	△8,635	△890	△10,982	72	3,447	3,538
2007年2月28日残高	30,079	50,045	148,953	△16,478	212,600	3,813	20	△11,012	△1,577	△8,755	72	21,220	225,138

(注) 2006年5月の定時株主総会における利益処分項目であります。

主要な連結子会社

株式会社インパクト二十一

アクロストラנסポート株式会社

チャコット株式会社

株式会社オンワードクリエイティブセンター

オーク株式会社

バスストップ株式会社

株式会社ブックレット

株式会社オンワードライフデザインネットワーク

株式会社オーアンドケー

ジョゼフLTD.

ジボコーS.P.A.

オンワードビーチリゾートグアムINC.

ジェイプレスINC.

フリードオブロンドンLTD.

恩瓦徳貿易（上海）有限公司

Financial Statements

Non-Consolidated

個別財務諸表

個別貸借対照表

(百万円)

	当期	前期
	2007年2月28日現在	2006年2月28日現在
資産の部	(267,641)	(257,814)
流動資産	61,727	80,318
うち現金及び預金	11,965	20,394
うち受取手形及び売掛金	20,599	18,789
うちたな卸資産	24,459	22,475
固定資産	205,913	177,495
有形固定資産	64,153	72,536
無形固定資産	2,446	2,493
投資その他の資産	139,312	102,466
資産合計	267,641	257,814
負債の部	(76,897)	(62,003)
流動負債	54,526	54,986
固定負債	22,370	7,017
純資産の部	(190,744)	(—)
株主資本	196,968	—
資本金	30,079	—
資本剰余金	51,552	—
利益剰余金	132,937	—
自己株式	△ 17,601	—
評価・換算差額等	△ 6,297	—
その他有価証券評価差額金	4,697	—
繰延ヘッジ損益	17	—
土地再評価差額金	△ 11,012	—
新株予約権	72	—
負債及び純資産合計	267,641	(—)
資本の部	(—)	(195,810)
資本金	—	30,079
資本剰余金	—	51,552
利益剰余金	—	129,085
土地再評価差額金	—	△ 2,377
その他有価証券評価差額金	—	5,041
自己株式	—	△ 17,571
負債及び資本合計	(—)	257,814

個別損益計算書

(百万円)

	当期	前期
	2006年3月1日から 2007年2月28日まで	2005年3月1日から 2006年2月28日まで
売上高	215,735	203,539
売上原価	116,396	106,992
売上総利益	99,339	96,546
販売費及び一般管理費	81,105	77,744
営業利益	18,233	18,801
営業外収益	4,471	4,047
営業外費用	575	939
経常利益	22,129	21,910
特別利益	13,853	41
特別損失	20,162	2,113
税引前当期純利益	15,821	19,838
法人税、住民税及び事業税	9,907	9,062
法人税等調整額	△ 1,727	21
当期純利益	7,641	10,754
前期繰越利益	—	4,081
土地再評価差額金取崩額	—	25
当期末処分利益	(—)	14,860

株主資本等変動計算書 (2006年3月1日から2007年2月28日まで)

(百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
2006年2月28日残高	30,079	51,552	129,085	△ 17,571	193,146	5,041	—	△ 2,377	2,663	—	195,810
当事業年度中の変動額											
剰余金の配当(注)			△ 3,892		△ 3,892						△ 3,892
役員賞与の支給(注)			△ 450		△ 450						△ 450
当期純利益			7,641		7,641						7,641
自己株式の取得				△ 41	△ 41						△ 41
自己株式の処分		0		10	11						11
土地再評価差額金取崩額			553		553						553
買換資産圧縮積立金の取崩額(注)			—		—						—
買換資産圧縮積立金の取崩額			—		—						—
別途積立金の積立(注)			—		—						—
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)						△ 343	17	△ 8,635	△ 8,961	72	△ 8,888
当事業年度中の変動額合計	—	0	3,852	△ 30	3,821	△ 343	17	△ 8,635	△ 8,961	72	△ 5,066
2007年2月28日残高	30,079	51,553	132,937	△ 17,601	196,968	4,697	17	△ 11,012	△ 6,297	72	190,744

(注) 2006年5月の定時株主総会における利益処分項目であります。

会社の概要

(平成 19年2月28日現在)

社名	株式会社 オンワード樫山 ONWARD KASHIYAMA CO., LTD
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
従業員数	1,646名
本社	東京都中央区日本橋3丁目10番5号
事業所	
東京店	東京都港区海岸3丁目14番11号
大阪支店	大阪府大阪市中央区本町4丁目3番6号
関東支店	東京都港区海岸3丁目11番6号
福岡支店	福岡県福岡市中央区大名2丁目6番43号
名古屋支店	愛知県名古屋市中村区名駅南4丁目11番31号
札幌支店	北海道札幌市中央区北一条西16丁目1番
仙台支店	宮城県仙台市青葉区二日町12番34号
広島支店	広島県広島市西区南観音3丁目12番10号
芝浦第一ビル	東京都港区海岸3丁目9番32号
芝浦第二ビル	東京都港区海岸3丁目11番6号
芝浦第三ビル	東京都港区海岸3丁目14番11号
芝浦第四ビル	東京都港区海岸3丁目14番21号
厚木物流センター	神奈川県厚木市愛甲1549
大阪支店・都島 オペレーションセンター	大阪府大阪市旭区高殿5丁目10番7号
オンワード総合研究所	神奈川県横浜市都筑区牛久保3丁目9番3号

取締役および監査役

(平成 19年5月24日現在)

代表取締役 会長執行役員	廣内 武
代表取締役 社長執行役員	上村 茂
代表取締役 専務執行役員	馬場和哉
取締役専務執行役員	大沼 勉
取締役常務執行役員	吉沢正明
取締役	本庄八郎 中村嘉秀
常勤監査役	山本昭登 山根 功
監査役	小川恵一 矢部丈太郎

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
2. 監査役小川恵一、矢部丈太郎の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

執行役員

(平成 19年5月24日現在)

常務執行役員	堀江龍二 大野雅丈 中村純二 水野健太郎 今井 博 清原雅文 小林忠良 前田 進 酒井 涉 山田博明 玉井研一郎 馬場昭典 佐藤順彦 石田 博 田中 実 鈴木恒則
執行役員	松本秀雄 萩平 勉 青山 仁 鈴木貴久 久道英雄 加賀谷和夫 野村 学 田中英信 小松光彦 吉里博一 三田寛暢 小林一仁 梅宮栄八郎 一瀬久幸 大澤道雄 加茂直紀 碓氷貴男 藤川徳恭 保元道宣

(注) 常務執行役員 山田博明氏は、平成 19年5月25日に就任いたします。

Stock Information

株式の状況

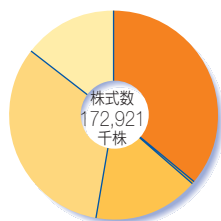
(平成19年2月28日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	172,921,669株
株主数	9,542名

(注) 発行済株式の総数には、自己株式10,744千株が含まれています。

所有者別株式分布状況

	千株	%
金融機関	61,021	35.3
証券会社	682	0.4
その他の法人	31,670	18.3
外国法人等	52,870	30.6
個人・その他	26,678	15.4



(注) 個人・その他には、自己株式が含まれています。

大株主 (上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	出資比率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,246	6.9
財団法人 榎山奨学財団	8,710	5.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,086	4.3
日本生命保険相互会社	6,227	3.8
株式会社 伊勢丹	5,001	3.0
第一生命保険相互会社	4,200	2.5
株式会社 三井住友銀行	2,931	1.8
ジェーピーモルガンチェースバンク380084	2,904	1.7
全国共済農業協同組合連合会	2,826	1.7
モルガンスタンレー アンド カンパニー インク	2,733	1.6

(注) 当社は自己株式10,744千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いています。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月中
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同送付先	〒137-8081 東京都東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 お問合せ先 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載 URL http://www.onward.co.jp/

単元未満株式の買増制度のご案内

単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式の数と併せて1単元になる数の株式を当社に対して買増請求することができます。

詳細につきましては、

株主名簿管理人

(証券保管振替制度ご利用の株主様はお取引の証券会社)

までお問い合わせください。



当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社オンワード樫山

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-3272-2312